

Ⅳ基本目標評価シート【令和6年度(令和7年度調査結果)】

基本目標	数値目標	H30 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6 (目標値)
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率※3	1. 27	1. 47	1. 32	1. 64	—	—	1. 76

※3 出典：管内の概況（岡山県備中保健所）

施策の基本的方向
○ 若者への安定した雇用の確保に加え、出会いの場・機会の創出等の婚活支援策を推進し、未婚化・晩婚化の解消を図ります。
○ ハード・ソフトの両面において出産・子育てしやすい環境を整備し、結婚からの切れ目ない支援で出産・子育て世代の希望を実現させます。

施策の枠組み	具体的な施策	主な取組 及び担当課	KPI（重要業績評価指標）	H30 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6 (目標値)	施策の取組と K P I の分析・評価	施策の具体的方策 (解決すべき問題への方策、成果をさらに伸ばす方策)	担当課
(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	① 出会いから結婚までの支援の充実	主な取組一覧を参照してください	縁結びサポーターによる成婚数（累計）	1組	0組	0組	0組	0組	1組	5組	昨年度の新規登録者は、男性2名、女性1名であり、全体としては、男性22名、女性10名となった。毎年度コンスタントに登録者数を増やすことができているが、本来の目的である成婚については件数が少ない。5年ぶりに成婚者を出すことができたが、登録者数に対しての成婚数は少ない。 近隣市町においては、自治体独自の結婚支援をやめたところもあるが、依然として結婚希望者は多く存在するため、浅口市で婚活・定住してもらえるよう制度の周知を行い、登録に結び付ける必要がある。	女性の登録者数が少ないため引き続き登録を募る必要がある。 また県の婚活支援、井笠圏域や高梁川流域の婚活支援と並行して募集を行い、それぞれの事業とリンクさせる。 年に一度開催している婚活イベントにおいても登録を促し、参加者を巻き込んでマッチング数を増やすだけでなく、成婚に繋げる。	秘書政策課
	② 経済的支援の推進		子ども医療費給付対象年齢	中3まで	中3まで	中3まで	満18歳まで	満18歳まで	満18歳まで	中3まで	R4.10月以降、満18歳までの全対象児童に適用することができた。	特に課題等なし	健康こども福祉課
			不妊・不育治療費助成制度の有無	有	拡充	有	有	不育のみ有	不育のみ有	有	不妊治療は令和4年度より保険適用となったため、令和5年3月31日をもって助成制度を終了している。 令和5年度以降は、不育治療費の助成のみを行っている。	不育については引き続き実施し、他市の動向を注視したい。	健康こども福祉課
	③ 妊娠・出産環境の整備と支援の充実		マタニティクラス参加割合（年間）	16%	11%	8%	19%	20%	14%	20%	令和6年度妊娠届出数:171件（転入含む）。マタニティクラス参加者数は実:16人、延24人であった。母子手帳発行時に、マタニティクラスの紹介と日程のちらし配付をしている。参加者同士の交流や情報交換の場となっている。	参加率としては高くはないが、産院でもマタニティクラスは開催されているため、他で情報を得る機会があり市の開催するマタニティクラスは現状維持。	健康こども福祉課
			あかちゃん訪問割合（年間）	87%	90%	92%	98%	100%	100%	希望者の100%	昨年度のあかちゃん訪問割合（希望者）は100%で、2年連続で100%の訪問を達成できた。 訪問時に絵本を渡すことで、親子間の読書習慣を促進し、親子のコミュニケーションを深める助けとなった。 また、子育てについて必要な情報を提供することで、特に初めて親になる家庭の不安を軽減し、子育てに対する理解を深めることができた。	共働き世帯の増加に伴い、訪問する時間帯や日程の調整が難しくなっており、愛育委員の負担を軽減するため、金光地区、鴨方地区については、対象者の自宅への訪問をとりやめ、乳児検診時に愛育委員から絵本等を手渡すように変更する。 なお、寄島地区は、引き続き従来の赤ちゃん訪問を実施する。	健康こども福祉課
			地域子育て支援拠点事業実施箇所数	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	昨年の年間延べ利用者は、7,329名であった。 実施箇所数は、目標値の2箇所を達成しており、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供した。	実施箇所数について、今後も需要と供給のバランスを見極めながら、検討していく。 また、業務の効率化及び利用者の利便性向上のため、デジタル化についての検討を行ったり、広報の方法についても見直していく。	保育未来課

	④ 子育て環境の整備と支援の充実		5		放課後児童クラブの待機児童数 (年間最大数)	0人	0人	0人	0人	24人	23人	0人	放課後児童クラブに対する補助単価の見直し等を行い、適正な運営費の支援を行うとともに、施設内の設備の充実や環境整備・施設整備を計画的に進めた。小学校の児童数は減少傾向にあるものの、依然として放課後児童クラブの利用ニーズは高く、待機児童が発生している金光小学校の放課後児童クラブについて、新たな施設の整備に向けた協議を進めた。	受入児童数の拡大についてクラブへ働きかけを行う。 また、待機児童発生の一因である放課後児童支援員等職員の不足について、児童クラブと協力し、引き続き積極的に求人募集の支援をしていくとともに、国の補助金を活用した支援員の処遇改善に取り組む。	保育未来課
	⑤ ワーク・ライフ・バランスの向上				「おかやま子育て応援宣言」に登録している企業・事業所数 (累計)	8社	9社	9社	9社	10社	10社	10社	子育て支援に積極的に取り組む企業を「おかやま子育て応援宣言企業」として登録し、子育て支援に取り組む企業であることを対外的にアピールすることができるため、企業のイメージアップや優秀な人材の確保が期待され、また、おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に、特に積極的な企業は、「アドバンス企業」として認定される。現在、目標値の10社に達している。	引き続き、市ホームページ等で周知を行い、登録企業・事業所のさらなる増加に努める。	市民課
子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上 (2)	① 地域の教育力の向上と活用		5		地域学校協働活動事業実施小・中学校区数	10校区	10校区	10校区	10校区	10校区	10校区	10校区	地域学校協働活動推進員は、すべての小中学校区で配置できている。7年度からは義務教育学校が設置されるが、引き続き、配置できるよう取り組む。 また、推進員を中心に、学校支援ボランティアの活動も各校で取り組めている。	学校及び地域と連携しながら、地域学校協働活動推進員の後継者育成や学校支援ボランティアの人員確保につなげていきたい。	ひとづくり推進課
					夏GAKUサブリ実施公民館数	3館	0館	3館	3館	3館	3館	3館	3館すべてが一定の水準を保って事業を継続できている。年度ごとに、プログラムの内容や講師依頼先を検討し、必要な改善を図っている。	地域の人材発掘を進めることができるよう、学校や社会教育団体、地域ボランティアの方々との情報交換に努めたい。	ひとづくり推進課